

体育のパイディア（Paideia）： エクササイズ、アゴン、そしてミミクリ

林 洋輔¹

¹ 大阪教育大学教育学部保健体育部門
e-mail: qqfs3s79@bridge.ocn.ne.jp

【序論】

◎ 研究の背景・意義

山口（2022）が新書『スポーツの価値』にて提起したように、体育学およびスポーツ文化研究の領域においては「**スポーツの価値**」の**実質が改めて問われ始めている**。この背景には国内外におけるスポーツ関係者の度重なる不祥事、またスポーツ活動が政治経済や福祉、そして教育や地域活性化に及ぼす持続的な影響がある。これらを踏まえ、**国内外の地域・社会におけるスポーツの位置・価値を問い直す機運**が高まっている。

他方、以下の林(2023)のように**生涯にわたる身体活動の総体を「体育Taiiku」と捉える観点**からは、「スポーツの価値」の議論は「体育Taiiku」の実質をより精確に解明する上で喫緊の課題である。

◎ 研究の概況と着眼

1. 体育学人文社会系では、オランダの歴史家ヨハン・ホイジンガ『ホモ・ルーデンス』やフランスの社会学者ロジェ・カイヨワの『遊びと人間』など、**スポーツを歴史的・社会的な観点から「遊び」として捉える議論**が大勢を占めてきた。
2. 一連の日本学術会議健康・生活科学委員会(2008,2011,2017,2020,2023)による「提言」「報告」がその証左であるように、いわゆる「**社会的課題の解決手段**」として**スポーツを捉えなおす議論**が21世紀に入ってから勃興している。
3. 若手～中堅研究者の議論では山本(2020)による『ポスト・スポーツの時代』、Wenner (2022)の編む大冊『The Oxford Handbook of Sport and Society』、林(2023)『体育の学とはなにか』、さらに竹村(2024)が雑誌『現代思想』へ現代におけるスポーツの捉え方を寄稿するなど、**スポーツの現在と未来のあり方を問う議論は近年において陸続**する。
4. 体育学における研究史そして「体育Taiiku」の議論を踏まえ、「スポーツの価値」および「体育Taiiku」との連携に関する議論を進めることは、人間の生涯と社会におけるスポーツならびに身体活動の意味・価値を考える上で不可欠の課題である。

◎ 問題の設定：

1. 「スポーツの価値」に係る議論をどのように構想し、その理論基盤およびその基盤の上に立つ議論にはどのような行程が見込まれるか
2. スポーツが生涯にわたる身体活動として捉えうるならば、「体育Taiiku」との関連はどのように捉えられるか。

【結論と今後の課題】

1. 「アゴン（闘争）」と「ミミクリ（模倣・表現）」から説明される社会において、その社会発展の原動力としての「心身の尽力Spiritual Exercise」から「スポーツの価値」をめぐる議論は展開する
2. 生涯にわたる身体活動の総体「体育Taiiku」を「21世紀のパイディア」として位置付け、その中核として**スポーツの価値の実質に座する「心身の尽力」の意義**を向後に議論すべきことが明らかとなった

【1.「闘争と表現」の社会】

体育学・スポーツ研究の歴史を踏まえ、「アゴン（闘争）」と「模倣・表現（ミミクリ）」がスポーツの価値を論ずる場としての「社会」の実相である。

カイヨワの議論のうち、「アゴン（闘争）」と「ミミクリ（模倣・表現）」の結合に基づく社会には「教育的・美的価値」の発生および「進歩」が生じる。「闘争と表現」が社会を考える上での議論基盤である。

【2.文化のエクササイズExercise】

遊びとしてのスポーツの実現と発展による文化の成立には、「**尽力（エクササイズ）Exercise**」が求められる。「アゴン（闘争）」と「ミミクリ（模倣・表現）」に基づく社会および文化の発展には、その根底に「**心身の尽力Spiritual Exercise**」が伏在する。

「アゴン（闘争）」と「ミミクリ（模倣・表現）」の実現には、いずれも所期の目的を達成するための「**尽力Exercise**」が求められる。Davidson(2016)がサキソフォン奏者のSonny Rollinsを参照して述べるように、**文化の発展には心身を挙げた尽力としてのエクササイズ、即ち「心身の尽力Spiritual Exercise」が必要となる**。この「心身の尽力」の実現を果たす人間の成立・実現から「スポーツの価値」をめぐる議論が展開する。

【3.「体育のパイディアPaideia of Taiiku」へ】

「体育Taiiku」を「21世紀のパイディア」と位置付け、その中核に「**スポーツの価値**」の実質となる「**心身の尽力Spiritual Exercise**」が位置付く。

「体育Taiiku」には、生涯にわたり自らの生活を維持改善するための身体活動の総体が含まれる。Jaeger(1967)の大著「Paideia(3vol.)」の参照のもとで「体育Taiiku」を「21世紀のパイディア」と位置付け、その理念の中核として「**スポーツの価値**」の実質「**心身の尽力Spiritual Exercise**」の成立・展開が期待される。

【謝辞】

本研究は令和五年度大阪教育大学「若手教員等研究助成経費（一般研究助成）」の支援を受けて行われました。記して厚く御礼申し上げます。